

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
4 4 4	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Effect of a Concentrate of Sake and Ethyl $\alpha$ -D-glucoside on Chronic Alcohol-induced Liver Injury in Mice	
マウスの慢性アルコール性肝障害モデルにおける清酒濃縮物, $\alpha$ -エチルグルコシド投与の影響	
執筆者	
伊豆英恵、後藤邦康、樋詰和久、広常正人	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
日本醸造協会誌、Vol.103 No.8 Page.646-652 (2008)	
キーワード	
慢性アルコール性肝障害モデル、清酒、 $\alpha$ -エチルグルコシド	
要 旨	
<p>筆者らは、これまでにマウスで清酒濃縮物 (CS) と清酒成分のガラクトサミン (GalN) 誘発肝障害抑制効果の検討を行った。この結果、CS 及びアミノ酸、有機酸、糖を主成分とする清酒画分濃縮物が GalN による GPT と GOT の上昇を抑制することを明らかにした。さらに清酒糖画分に注目し、清酒特異的な糖成分である <math>\alpha</math>-エチルグルコシド (<math>\alpha</math>-EG) が有意に GalN による GPT と GOT の上昇を抑制することを明らかにした。以上の検討は GalN を用いた薬剤性肝障害であり、清酒を摂取する場合に実際に清酒成分による肝保護作用が働いているかどうかについては不明である。このことを明らかにするため、今回、清酒成分がアルコールによる肝障害に対して効果を持つかどうか検討を行った。マウスの慢性アルコール性肝障害モデルを用い、血漿の GPT 活性、血漿・肝臓の TG 値を測定して CS 及び <math>\alpha</math>-EG の肝保護作用を調べた。雄性 C57/BL6 マウスに Liber-Decalli のアルコール飼料またはコントロール飼料を 4 週間投与し、この間、CS (3 ml/kg 体重) または <math>\alpha</math>-EG (200 mg/kg 体重) を週 5 回、経口投与した。この結果、アルコール摂取で誘導される血漿 GPT 活性及び血漿・肝臓 TG 値の上昇が CS または <math>\alpha</math>-EG によって抑制されており、CS と <math>\alpha</math>-EG が慢性アルコール性肝障害を抑制することが示唆された。以上より、清酒にアルコールによる肝障害を軽減する成分が含まれると推測された。</p>	